

国語教育専修

初等教育履修分野 / 中等教育履修分野

日本語による豊かな言語文化を背景に、
 児童・生徒の日本語運用能力を高めることのできる教師を育てます。

◆ 学びのポイント

1 発達段階に応じた日本語運用力の育成

国語教育専修では小学校教諭一種免許と中学校教諭一種免許(国語)、加えて必要単位を履修すれば、高等学校一種免許(国語)を取得できます。
 成長とともに大きく変化する子どもたちの国語力に対応しながら、無限の可能性を秘めた子どもたちの国語力を最大限に引き出せる教師を目指します。



2 少人数・実践重視の授業

授業では個人やグループでの発表を多く取り入れ、活発な議論が行われます。少人数であるため自然と発言・発表の機会が増え、教員からもきめ細かな指導を受けることができます。また、地元奈良や周辺のフィールドを生かした学外での研修も積極的にを行っています。

3 先輩達との交流の場・国文学会

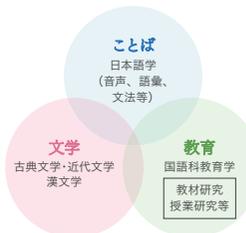
国語教育専修は、教員、学生、大学院生そして卒業生とが一体となって奈良教育大学国文学会を組織し、研究発表会の開催、機関誌「国文—研究と教育」の刊行を行っています。現場に出た卒業生の研究発表や教育実践報告も行われ、先輩から直接に学ぶことができます。何より人間的なつながりを大切にしています。



◆ 学びの領域

日本語を教えるプロになる上で学ぶ3つの領域

ことば・文学・教育の3領域から構成されるカリキュラム。2年までに各領域の基礎を学び、3年以降は各自が専門領域に選んだ研究室で学びを深め、その成果を卒業論文にまとめます。



国語教育専修の授業スケジュール

【3回生後期の一例】

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1・2時限			生徒指導・教育相談 IA		
3・4時限	日本語学 特講 II		特別活動の理論と方法 A		読書と豊かな人間性
5・6時限	道徳教育の理論と方法 A	日本語学 演習 II		中等教科教育法 II (国語)	情報メディアの活用
7・8時限				学校図書館メディアの構成	
9・10時限		ゼミ			



日本語学研究 I

日本語学の基礎について学び、国語科教材の作成について考えることができます。



国語科教育学研究 I

国語科教育の内容や方法を学び、今日の国語科教育における教材開発の観点や方法について考える授業です。



国語科教育学演習 I

国語科教育の基礎理論を学び、卒業論文に必要な研究発表能力を身につけるゼミ形式の授業です。



中等教科教育法 I (国語)

中学校の国語科教員として求められる基礎的知識や技能を学ぶ授業です。

主な開講科目

初等教科教育法(国語) / 日本文学概説 II / 日本語概説 II / 日本文学史 I
 中等教科教育法 II (国語) / 近代文学研究 / 漢文学研究 / 古典文学演習 I
 国語科教育学演習 II / 国語(書写を含む) / 近代文学演習 I / 日本語学研究 I

取得できる免許状

・[初等教育履修分野] 小学校教諭一種等
 ・[中等教育履修分野] 中学校教諭一種(国語)等
 (P.6,7取得できる免許状・資格のページ参照)

卒業後の主な進路

昨年度は卒業生のうち約80%が、小学校、中学校、高等学校の教員として就職しています。その他の進路は、公務員および一般企業への就職、大学院進学などがあります。

教員および専門分野(令和元年5月1日現在)

- ・棚橋 尚子教授 / 国語科教育 漢学指導論「読むこと」の教育にかかわる研究
- ・米田 猛特任准教授 / 国語科教育 表現指導論・語彙指導論・言語文化指導論に関する研究
- ・前田 広幸教授 / 日本語学 日本語の音声・音韻の歴史的推移や地域的変異についての研究
- ・有馬 義貴准教授 / 古典文学 「源氏物語」などの物語文学・古典教育の研究
- ・日高 佳紀教授 / 近代文学 日本の近代文学をめぐる雑誌・新聞等メディアや読者の研究
- ・橋本 昭典教授 / 漢文学 孔子、老子、荘子など諸子百家を中心とする中国古典思想の研究

Student's Voice

在学生の声

「古都奈良で国語を学ぶ」

国語教育専修4回生
井手 青葉さん
 (京都府立 嵯峨野高等学校出身)



国語教育専修では様々な授業を通して、国語に対する知識や理解を深めることができます。教育の分野に関する国語科教育学はもちろん、近代文学・古典文学・漢文学・日本語学などの専門性も高められます。ゼミの授業では、自分の好きな分野の勉強ができ、やりがいがあります。また、先生方との距離も近く、わからないことや悩みなどの相談にも親身になって乗ってくださいます。学生同士の関係も、同学年の仲間だけではなく先輩や後輩とのつながりも強いので、学年を問わず共に学び合える環境です。ぜひ、国語教育専修で私たちと一緒に充実した大学生活を送りましょう。